

教科目標

○社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1) 日本の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本の領土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点及び趣旨

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
地理的分野	○我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事情や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	○日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
歴史的分野	○日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	○歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	○歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元名	単元の目標	評価方法
4	○中世 武家政権の成長と東アジア	①— (1) 鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解する。 ①— (2) 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解する。 ①— (3) 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解する。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート レポート 自主課題

		②中世の日本を大観して、時代の特色や社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。③中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	
5	《地理的分野》 日本の地域的特色	<p>①—(1) 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。</p> <p>①—(2) 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解する。</p> <p>①—(3) 日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。</p> <p>①—(4) 国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解する。</p> <p>①—(5) 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解する。</p> <p>①—(6) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付ける。</p> <p>②—(1) 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>②—(2) 日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題
6 7 9 10 11	《地理的分野》 日本の諸地域	<p>①—(1) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。</p> <p>①—(2) 各地域の特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。</p> <p>②日本の諸地域において、それぞれ中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート レポート プレゼン 自主課題
12	《地理的分野》 身近な地域の調査 ※ <u>冬休みの課題</u>	<p>①—(1) 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。</p> <p>①—(2) 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付ける。</p> <p>②地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	レポート
	《地理的分野》 地域の在り方	<p>①—(1) 地域の実態や課題解決のための取組を理解する。</p> <p>①—(2) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解する。</p> <p>②地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>③地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決する。</p>	レポート プレゼン

1	<p>《歴史的分野》 大航海によって結び付く世界</p>	<p>①ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる。</p> <p>②交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート レポート 自主課題</p>
2	<p>《歴史的分野》 武家政権の展開と世界の動き</p>	<p>①—(1) ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解する。</p> <p>①—(2) 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。</p> <p>①—(3) 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。</p> <p>①—(4) 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解する。</p> <p>②—(1) 交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>②—(2) 近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート レポート 自主課題</p>
3	<p>《歴史的分野》 近代（前半） 近代国家の歩みと国際社会</p>	<p>①—(1) 欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。</p> <p>①—(2) 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。</p> <p>①—(3) 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解する。</p> <p>①—(4) 我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。</p> <p>②—(1) 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>②—(2) 近代前半の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③近代前半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート レポート 自主課題</p>

定期テスト範囲（予定）

1学期期末テスト	2学期中間テスト	2学期期末テスト	学年末テスト
<ul style="list-style-type: none"> ○武家政権の成長と東アジア ○日本の地域的特色 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の諸地域 (九州地方、中国・四国地方、近畿地方) 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の諸地域 (中部地方、関東地方、東北地方) 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の諸地域（北海道地方） ○大航海によって結び付く世界 ○武家政権の展開と世界の動き ○近代国家の歩みと国際社会

学習上のアドバイス

授業について

- ①プリントの空いているスペースやメモ欄を利用し、積極的にメモをとるようにしましょう。
- ②定期的に確認テストを実施します。
- ③自分の意見を発表したり、級友と話し合ったりする場面が多くあります。間違ってもかまいません。積極的に参加し、学習していきましょう。

家庭学習のアドバイス

- ①プリントやワークを活用し、その日の学習内容を復習するようにしましょう。
- ②確認テストの学習を積み重ねていくことで、定期テストの得点アップにつながります。

その他

- ①用語集の販売を行います。必要な人は購入し、授業や復習に活用しましょう。